



2014年度 活動総括

1. 子ども子育て支援新制度のための活動

<保育の質維持のためのパブリックコメント運動>

ついに2015年4月1日から新制度が始めるということもあり、昨年1年間は新制度の内容の把握、市や市議会への働きかけを行った一年間でした。6月の時点でまだ何も決まっていないという状況の中、勉強会を行い、市議会議員さんが他の自治体等から得たわずかながらの情報を共有していただき、草加の条例のために運動を行いました。

パブリックコメントが7月に募集開始されてからは、保護者の皆様にご協力を頂き、前代未聞の15,526件もの意見が出されました。その甲斐もむなしく草加市の条例では国通りの条文になってしまいましたが、市長や子ども未来部長からも保育の質は低下させないという約束を何度も確認いたしました。

このような私たちの地道な活動の結果、市も約束を果たし、今までと変わらない保育内容、申請方法の維持、そして、なんとと言っても多くの世帯での保育料減額が実現しました。各地では、保育料の増額や、遠足でも別料金を取られるようになる自治体もあると聞きます。草加市ではこれらを維持できたのは皆様の活動のおかげです。ご協力ありがとうございました。

2. 待機児童対策のための活動

<待機児童解消のための保育士確保のお願い>

保育士不足による待機児童が顕著になってきています。

保育士一人に対して0歳児三人まで受け入れることが出来る、というような具体的な規制があります。園児の安全面からこのような規制は無くしてはならないものです。なお草加市基準は国基準より厳しい規制を設けており、草加の質の高さが伺えます。

このような動かしがたい規制がある中、保育士が集まらなければ、せっかく施設に空きがあるのにもかかわらず入園出来ません。

全国的に待機児童問題が騒がれる中、国や県の補助金もあり、全国の市区町村で保育施設が建設されています。そのため保育士が全国的に不足しています。

草加市も例外ではなく、昨年度から顕著にその傾向が見えはじめました。保育士不足の原因は近隣地区と比べて待遇の悪さにあるのではないかと私たちは考え、待遇改善を求めて市に訴えかけました。

待機児童対策は「施設の増設」「保育士の確保」の2本柱となる時代になったと言えます。私たち父母連では、保育士不足、看護師不足を解消するために今後もこの取り組みを続け、待機児童対策解消に向けて取り組んでいきたいと思っております。

2. わかりやすく、やりがいのある父母会・父母連づくりへの取り組み

<父母連ニュースの発行>

各保育園の保護者の皆さんに、父母連としての活動や各園での取り組みについてわかり易くお伝えするために、毎年事務局からは「父母連ニュース」を発行しています。

2014年度は、諸事情から発行回数が極端に減ってしまい、計2回発行(6/21・3/31)となりました。(父母連総会報告/草加市保育事業説明会の報告/市長懇談会報告)。今後もよりわかり易いニュース作りをめざし、今年度も取り組んでいきたいと思っております。ご意見等ございましたら、父母連メール info@soka-fuboren.org までお願いします。



<会長会・代表者会の開催／各父母会分担体制により皆で支え合う父母連活動>

昨年度は年3回の会長会（6・9・1月）そして年11回の代表者会（5・6・7・9・10・11・12・1・2・3・4月）を開催しました。

会長会では各園の状況や父母会運営についての情報交換などが行われました。

代表者会では、

- ① 父母連事務局から各園への様々な事務伝達や報告
- ② 父母連活動方針や内容の検討
- ③ 各園からの報告
- ④ 保育情勢などに関する学習

などを行いました。各園の会長や代表者の皆さん、ご協力ありがとうございました。今年度の会議を通して出されましたご意見・反省点は、是非新年度に生かしていきたいと思えます。

また、専従のいない父母連活動を皆で支えて行こう、との確認のもと、新年度も、昨年度に引き続き「父母連活動分担年間予定表」にもとづいて、父母連事務局の仕事を各父母会と分担し合いながら活動を行ってきました。お陰様で、事務局の負担も軽減されました。ご協力ありがとうございました。

<父母連アンケート（7月）の実施や市長懇談会（3／26）への取り組み>

父母連の活動は、各園の保護者の皆さん一人ひとりの声が集まって初めて可能となるものです。

そのためにも各園の声を会長会や代表者会で直接情報交換し合うと共に、年に1回、約1700全世帯に父母連アンケートを行い、一人ひとりの声を市への要望書や保育改善運動に反映させるための大変重要な取り組みを行っています。その集計結果は父母連ニュースにてご報告したり、集計結果を各園にお配りしたりしておりますので、皆さんでご覧いただいたことと思えます。

昨年度も父母会毎にアンケートのデータ入力をお願いしたり、父母連ホームページから引き出した書式にまとめたものを父母連メールにて送付していただいたりするなど、集計作業がより効率化でき、皆さんの意見をまとめることができました。担当していただきました皆さん、ご協力をありがとうございました。これらのアンケート結果や各父母会のご意見をもとに要望書などを作成し、昨年度は3/31に開催された「市長懇談会」での話し合いなどに反映させました。今後も情報交換をしながら、よりよい草加の保育を目指すべく運動を進めていきたいと思えます。

<父母連ホームページの充実>

2006年度に立ち上げた父母連のホームページですが、2007年度以降は父母連の活動をより多くの方に知っていただくために「父母連の活動／草加市の保育園／これからの予定／おしらせ」などの内容の更新を行ってきました。これまで専従体制のない中でなかなか更新がままならない時期もありましたが、定期的な各会議報告の更新、関連団体のイベントのお知らせ等を掲載しました。今後もより活用できるサイトにしていきたいと思っています。

またこれまで以上に父母連メール info@soka-fuboren.org を通して、皆さんのご意見・ご質問をキャッチし、父母連事務局としてできるだけ迅速に対応することができました。なかなかお返事ができないこともありました。新年度も引き続き、ホームページや父母連メールが情報発信の役割だけではなく、回答用紙のダウンロードや回答のメール送信、問い合わせ等の相互に情報交換できる役割も果たせるよう工夫していきます。ホームページやメールを通して、父母連活動が父母連会員一人ひとりにとって身近でわかりやすく、リアルタイムに声を反映できるよう工夫していきたいと思えます。

父母連ホームページ

<http://www.soka-fuboren.org/>



父母連 E メールアドレス

info@soka-fuboren.org



3. 私たち自身が学べる組織活動をつくる取り組み

＜子ども子育て支援新制度（6／6）開催の報告／草加子育てのつどいの不開催の報告＞

今年の4月より、保育に関するシステムが変わったのは皆様ご存知のことと思います。このシステムは6月ごろまで内容が不透明で、3月になってようやくその全貌が明らかになったという、非常に複雑な仕組みになっています。

その仕組みを少しでも理解するため、多くの保護者や保育士とともに学習し、制度について知ることが必要と考え6/6に自治労連草加市職員労働組合保育部会との共催で「子ども・子育て支援新制度」を学ぶ勉強会を開催しました。

その成果もあってか、市には的確な要望をできたのではないかと考えています。先に報告の通り、草加では幸いなことに大きな変更はありませんが、他の自治体では変更された点が多くあるとのこと。はじまったばかりのシステムですので、今後この1年間で、全国各地の実態が判明してくることと思います。

また、例年2月に実行していた草加子育ての集いですが、事務局員不足もあり、昨年度は開催することができませんでした。

つどいでは、主に子供向けの演劇、大人向けの講演会を行っています。

子育てについての悩みや疑問点を解決するための講演会は非常に勉強になることやハッとさせられることを多く講義していただいています。

なお、おとしは蔵持康子先生（元鳩ヶ谷市里保育所所長）をお招きし、「子育て疲れていませんか」をテーマにお話をしていただき、親として子供の接し方について教えていただきました。子供向け演劇は劇団風の子を招き、本物の演劇を間近で見られる貴重な機会を提供することができました。今年度は開催したいと考えています。

各園父母会主催「CAPワークショップ」への補助＞

昨年度の「CAP（Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止）ワークショップ」は各父母会企画で行い、父母連としては大人ワークショップの講師交通費と子どもワークショップ1回分の講師交通費を補助する形で応援してきました。新年度も子どもを守る取り組みを支援することを目的に、各園への補助を行っていく予定です。



4. 共同の輪を広げる取り組み

＜「第8回育成保育保護者交流会」（9／27）の実施＞

草加市内には2010度4月から公立の早期療育施設として子育て支援センターが開所されましたが、未だに障がいのあるお子さんの数が多く、十分に利用できない面も見受けられるのが現状です。また両親共働きの家庭においては市の育成保育制度を利用することとなりますが、各園に在籍している育成保育のお子さんは数名です。そのような状況で、保護者同士の交流や情報交換の場として父母連が提供してきている「育成保育保護者交流会」が今年も開かれました。育成保育保護者のみなさんの交流の輪が着実に広がっています。参加者の「もっと就学に関する情報がほしい」との要望を受けて、昨年度は学

童保育の会主催の「学童発達保障プロジェクト」から、障がいがありながら学童保育にお子さんを預けている保護者の方々にも参加いただき、学齢前から学齢期への切り替わりの時期、学校選択等で悩む保護者への的確なアドバイスをいただきました。今後も育成保育の保護者同士の情報交換・学習の場として交流会を開催し、情報を積極的に発信してきます。

<民主教育をすすめる草加市民会議>

主に小中学校・高校の教育の課題に取り組むゆるやかな集まりで、父母連も団体で加入しています。少人数学級の実現や市内の小中学校の給食の民営化問題、定時制高校廃止問題等私たち保育園保護者が数年後に当事者として直面する学校教育をめぐることがらを、学校の先生、学童保育の指導員や保護者、女性団体と日常的に意見交換やとりくみを作っています。父母連からは保育情勢を発信し、この会にあつまる市民との共有や一緒のとりくみをすすめています。

<草加母親大会>

「生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」を合言葉にした半世紀以上の長い歴史のある運動に、父母連も保育部門を担当しています。9月の草加母親大会では会場準備、分科会の開催等にかかわりました。

